

評価軸③-53

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
観光地の混雑状況の発信			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 スマートフォン利用者の位置情報等のビッグデータをもとにした観光地の混雑予測や、リアルタイムの混雑状況、混雑しやすい時間でも快適に観光できるおすすめスポットの情報等を、京都観光公式サイト「京都観光Navi」において発信することで、観光客の更なる分散化を図り、混雑の解消と、密を避けた安心・安全な京都観光を推進する。【頁6-39】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【観光快適度予測の表示エリア】7エリア11箇所  
 ○嵯峨・嵐山: 渡月橋北詰、竹林の小径  
 ○伏見: 伏見稲荷大社付近  
 ○哲学の道・岡崎: 哲学の道北端、岡崎公園  
 ○衣笠・北野・西陣: 北野天満宮前付近、金閣寺道付近

○祇園・清水: 花見小路、清水坂～ねねの道  
 ○京都駅周辺: 京都駅前バス乗り場  
 ○市内中心部: 錦市場

【ライブカメラ配信エリア】7エリア10箇所  
 ○嵯峨・嵐山: 渡月橋北詰、竹林の小径  
 ○伏見: 伏見稲荷大社付近  
 ○哲学の道・岡崎: 哲学の道北端  
 ○衣笠・北野・西陣: 北野天満宮前付近

○祇園・清水: ねねの道、花見小路  
 ○京都駅周辺: 京都駅前バス乗り場、八条口タクシー乗り場  
 ○市内中心部: 錦市場

【歴史的風致・基本方針との関係】京都市では、市民生活と観光の調和の下、観光の力を活かして、京都の文化・コミュニティの継承・発展、地域経済の活性化や都市機能の強化、教育・保険・福祉など様々な分野の課題解決を図り、市民のくらしや地域にとっての豊かさにつなげることとしている。  
 観光地の混雑予測や混雑状況を発信することは、観光客の利便性が向上するとともに、市内周辺部に観光客が訪れやすくなり、観光地の混雑解消に寄与することで市民生活と観光の調和が図ることができ、京都の7つの歴史的風致を後世へ継承するうえで重要である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

【課題】京都観光快適度マップHPが日本語対応のみ  
 【対応方針】令和4年度に英語、中国語(繁体字・簡体字)のページを開設。

状況を示す写真や資料等

京都観光快適度マップ(多言語版)URL  
<https://kyoto.travel/en/info/maps-apps/congestion.html>



評価軸③-54

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
観光案内標識設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 観光客向けに、受入環境の充実を図り、回遊性向上に繋がる観光案内標識の設置を行うため、平成30年度から順次、観光客の受入環境の整備と観光地の分散化を目的とした観光案内標識の整備を進めるとともに、これまでに整備した案内標識等の時点修正や旧型の観光案内図の更新を行っている。【頁6-40】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

混雑緩和策として、観光客が集中するエリアにおける回遊性や多様なエリアへの誘客の推進に向けて、案内標識等の設置、修繕を実施した。  
 ※令和4年度実績 (設置:3基(左京2基、下京1基)、修繕:1基)

【歴史的風致・基本方針との関係】快適な受入環境の整備のため、観光案内標識を整備する際の考え方を示す「観光案内標識アップグレード指針」に基づき整備を進めることは、京の街道やその周辺の歴史的風致や京の都を育む水・土・緑の歴史的風致を後世へ継承するうえで重要であり、観光客の利便性が向上するとともに、市内各所に観光客が訪れやすくなり、観光地の混雑解消に寄与することで市民生活と観光の調和が図られる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし

状況を示す写真や資料等

左京区田中東高原町地内



左京区北白川上終町地内



下京区南不動堂町地内



評価軸③-55  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
地域と連携した観光課題解決等推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 マナー問題や混雑、観光客の密集に伴う新型コロナウイルス感染症の拡大など、観光に起因する課題の発生防止・解決を図り、市民・観光客の安心・安全を確保するとともに、地域文化を継承していくため、地域団体等が自主的に取り組む観光課題解決の活動に対して補助を行う。【頁6-41】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<令和4年度の補助実績>  
 ○補助件数:9件  
 ○補助金交付額(予定):4,163,000円  
 ○主な申請内容:  
 ・混雑緩和のため、ライブカメラを設置し、HPIに掲載。  
 ・HP改修し、観光マナーについて掲載。

【歴史的風致・基本方針との関係】  
 地域団体等が自主的に取り組む観光課題解決の活動に対して補助を行うことは、観光客のマナー向上に寄与するとともに、地域コミュニティの活性化に寄与することで市民生活と観光の調和が図ることができ、京都の7つの歴史的風致を後世へ継承するうえで重要である。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・特になし

状況を示す写真や資料等

資料なし

評価軸③-56

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
魅力ある夜間景観づくり	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 京都市では、都市での暮らしや営みを活き活きとしたものとし、新たな価値を創造する都市としていくことを目標とし、日中だけでなく夜においても魅力的な京都ならではの景観づくりに取り組んでいる。夜間景観づくりのための指針「京都のあかり 京都らしい夜間景観づくりのための指針」を令和4年3月に策定した。【頁6～43】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度の現状調査、令和元年度の社会実験、令和3年度のパブリックコメントの実施等を経て、魅力ある夜間景観づくりのための指針「京都のあかり 京都らしい夜間景観づくりのための指針」を令和4年3月に策定した。魅力ある夜間景観づくりのための指針は規制により夜間景観づくりを行うのではなく、市民、事業者、行政が協働してより魅力的な夜間景観づくりを進めていくための誘導指針であり、照明の知識や技術的な手法について盛り込んで活発な議論を促す内容としている。

【歴史的風致・基本方針との関係】夜間景観は都市の景観を構成する重要な要素の一つであることから、地域の特性に応じた夜間景観を誘導し、京都の夜間景観の魅力の向上を図ることにより、新たな賑わいを創出するとともに、歴史的建造物をめぐり、歴史的資源や町並みを実際に感じることで、京都の魅力や歴史的価値を再認識する機会となり、京都市の7つの歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 夜間景観づくりのための指針を元に、地域コミュニティ等と協働して夜間景観づくりを推進するための具体的な手法の検討及び機運の醸成を行う。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-57 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
世界歴史都市連盟を通じた国際社会における京都の魅力発信の拡大		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成6年～

支援事業名 任意団体(世界歴史都市連盟)の事業

計画に記載している内容 歴史都市という共通の絆で結ばれた都市が、将来にわたって日常的な交流を促進する。【頁6-44】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 大韓民国の安東市で第18回世界歴史都市会議及び2022年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催。各国の歴史都市の代表者や専門家がコミュニティを主体とした施策について発表・意見交換を行い、京都市からは門川市長が「地域コミュニティを主体とした京都のまちづくりと人づくり」と題してラウンドテーブルで発表した。総会では、緊迫した国際情勢を受け、都市同士の連帯や、紛争等で苦しむ歴史都市への支援・呼掛けを行っていくことを誓う「平和連帯声明」を发出することを決定。また、役員の選出が行われ、京都市が会長都市に再選。理事会では、第19回会議開催都市の選定を行ない、投票の結果、スロベニアに決定した。  
 広報面では、歴史都市の取組等を掲載した連盟機関紙の発行や連盟公式ウェブサイトによる情報発信、市民周知のための世界の歴史都市絵本展等を開催した。  
 ・第18回世界歴史都市会議(大韓民国・安東市 2022年11月14～16日開催) 参加都市 42都市(20箇国)※実地参加19都市、オンライン参加23都市、参加人数 3日間で延べ800人  
 ・2023年3月末現在の加盟都市数 128都市(65箇国・地域)

【歴史的風致・基本方針との関係】世界歴史都市連盟の活動を通じて、国内外を問わず各歴史都市との交流や情報交換、京都市の歴史遺産の保存の取組の発信を行うことにより、文化の発信・発展につながり、京都市の7つの歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナや世界情勢が影響し、歴史・文化遺産や観光資源を有する世界の歴史都市は厳しい状況に置かれている。デジタル技術も効果的に活用しつつ、本来の顔の見える交流を再び活性化していくとともに、世界の歴史都市の再生と都市間の友好的な関係の構築に向け、協力して取り組んで行く。

状況を示す写真や資料等



第18回世界歴史都市会議の様子



連盟機関紙の発行



公式ウェブサイトの運営

評価軸④-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
①文化財調査、指定・登録など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	京都市にとって特に重要な文化財の指定・登録を進める。【頁5-1】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和4年度として、下記の文化財を新たに指定した(令和5年3月31日付け告示)。 建造物:京都市動物園 観覧車 1基(日本科学遊園株式会社所有) 建造物:山崎家(旧井上家)住宅 1棟(知財支援機構株式会社、セムルーカス株式会社、個人) 美術工芸品(絵画):紙本金地著色二条城行幸図(六曲屏風) 1双((公財)泉屋博古館所有) 美術工芸品(彫刻):鉄造阿弥陀如来坐像 1軀(念佛寺所有) 美術工芸品(工芸品):神宝類并諸道具類 一括(八坂神社所有) 美術工芸品(考古資料):洛北窯跡出土鴟尾 673点(京都市所有) 有形民俗文化財:京都の雅楽管楽器製作用具 813点(公立大学法人京都市立芸術大学所有) また、下記の文化財を登録した(同日付け告示)。 無形民俗文化財:大豊神社の剣鉾差し 無形民俗文化財:竹田のエンザサンザ ・上記指定・登録により、本市指定・登録文化財件数は546件となった(令和5年4月1日現在)。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和4年度京都市指定文化財			
			
紙本金地著色二条城行幸図 (指定・美術工芸品 絵画)			
			
京都市動物園 観覧車(指定・建造)		鉄造阿弥陀仏如来像(指定・美術工芸品 彫)	

評価軸④-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
②文化財の修理、防災防犯対策、文化財の周辺環境の整備など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

修理に係る補助、融資や、税負担の軽減など、必要な支援を実施し、負担軽減を図っていく。  
 平常時から文化財所有者への防火・防災に対する注意を喚起するとともに、地域の住民、専門家、消防署・消防団などの文化財の関係機関の協力による文化財の災害予防や、文化財が被災した場合の応急措置なども含めた対策について検討を行っていく。  
 災害発生時に、より迅速な消火・通報・文化財搬出等の初動活動を実施するための「文化財市民レスキュー体制」を構築しており、引き続き、消防訓練等の取組を通じて、一層の充実を図っていく。また、地震、台風等の大規模災害の発生時には、広域での応援が受けられるよう、関係機関や他都市等との連携の仕組みを検討していく。  
 近年、文化財を毀損する行為や文化財の盗難事件等が各地で発生していることなどから、防犯に係る備えも進めていく。  
 京都文化遺産の特性や、その周辺環境、関係者の状況に応じて、その価値を最大源活かせるよう、景観の保全施策やまちづくりに関する施策と、文化財保護施策との連携により、最適な手法で保存活用を目指す。【頁5-3、4】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・京都市指定登録文化財(建造物)を保護し、市民の文化及び地域の文化の向上及び発展に資するため、文化財保護事業を行う者に対して補助金を交付する。令和4年度は、浄住寺など13件の修理事業(建造物)を実施した。【再掲】
- ・令和元年度のノートルダム大聖堂及び首里城での大規模火災を踏まえ、本市の貴重な財産である市指定・登録文化財について、確実に次世代に継承するため、令和2年度から6年度までの5年間、「自動火災報知設備」、「防犯カメラ」の設置や更新等防災対策事業に対する補助を拡充するとともに、「消火器」の設置や更新についても補助し、防災対策を重点的に強化する。令和4年度は、7件(建造物)の防災対策事業に対する補助を実施した。【再掲】
- ・2025年大阪万博の開催を控え、文化財が有する社会的・経済的価値を観光、産業、研究、まちづくりなどの様々な分野に活用し、地域の活性化につなげていくため、令和2年度から6年度までの5年間、京都市指定・登録文化財の修理補助の対象となる額の上限を拡大し、集中的に修理を推進する。令和4年度は1件(建造物)の修理事業を実施した。【再掲】
- ・伝統的建造物群保存地区内における修理・修景助成: 14件【再掲】
- ・夏の文化財防火運動(7月12日から18日まで)及び文化財防火運動(1月23日から29日まで)期間中に、文化財関係社寺等において消防訓練を行うとともに、10月から11月に電気火災から文化財を守るため、電気設備の安全点検を行った。
- ・周辺環境の整備については、歴史的風致形成建造物新規指定8件、景観重要建造物新規指定3件を行った。【再掲】

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

文化財を保全するためには、それ自身の保存のみでなく、周辺環境の保全・整備が不可欠であるため、景観保全施策・まちづくりに関する施策・文化財保護施策・防災施策等、様々な施策を協同して進められるよう、関連部署の連携を図っていくことが必要。

状況を示す写真や資料等

文化財の修理等(市指定文化財の修理)



市指定文化財・浄住寺 修理前



市指定文化財・浄住寺 修理後

伝統的建造物群保存地区における修理・修景



修景前(塀等修景工事)

修景後(塀等修景工事)

周辺環境の整備

・令和3年度新規指定件数 歴史的風致形成建造物:28件, 景観重要建造物:2件



平等寺(因幡堂)景観・歴風



あじき路地 歴風

防災事業



防火訓練(醍醐寺)

評価軸④-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
③文化財に関する普及・啓発、民間団体への助成、支援、連携した取組など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	京都文化遺産を未来に伝えていくためには市民一人一人が担い手となり、持続的な維持継承に取り組むことが重要である。京都市が関係団体等の協力を得て養成している「京都文化財マネージャー」等も活躍しており、こうした活動の活性化を図るため必要な情報提供や人材育成等について積極的に支援していく。【頁5-4、5】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度の文化財マネージャー育成講座は、コロナウイルス感染拡大防止対策を行ったうえで実施した。また、文化財マネージャー全員を対象としたスキルアップ研修を、京都を彩る建物や庭園の認定調査の成果発表と併せて実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財マネージャーのスキルアップを図る必要がある。スキルアップの研修や登録後の活動において連携を図ることにより、スキルの上を目指す。		
状況を示す写真や資料等			
<b>●文化財マネージャー講座</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財マネージャー育成講座の開催:全14回                      ○令和5年1月～令和5年3月 育成講座受講生:36名(計6回)</li> <li>文化財マネージャースキルアップ研修の開催                      開催日:令和5年1月24日(計1回)                      内容:京都を彩る建物や庭園 認定調査の成果発表                      会場:公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター(ワークショップルーム)</li> </ul>			
			
文化財マネージャー育成講座		文化財マネージャースキルアップ講座	

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道	評価対象年度	
	年月日	令和4年度
報道等タイトル		
桜見頃の二条城ライトアップ混雑状況HP確認を	令和4年4月8日	京都新聞
宮川町の「大屋根」継承 歌舞練場建て替え高さ規制超え認める	令和4年4月13日	京都新聞
河合橋の補修完了 安全性と景観向上 歩道拡大、石畳風に	令和4年4月13日	京都新聞
秀吉の京都改造 痕跡新たに出現	令和4年4月14日	京都新聞
祇園祭 山鉾巡行を再開	令和4年4月21日	京都新聞
3Dで巡る議場 京都市議会	令和4年4月21日	京都新聞
嵐山の「可動式止水壁」一新 地元要望反映 景観との調和図る	令和4年4月26日	京都新聞
仮想空間 京の観光振興 京都市・ANA・トーセが協定 町並み再現、コロナ後誘客へ	令和4年4月27日	京都新聞
高瀬川再生 完成へ追い風	令和4年5月2日	京都新聞
伏見桃山城見えぬ復活	令和4年5月3日	京都新聞
京の観光地 今混んでる？ 京都市ライブ映像配信、分散化狙い 京都市駅前・渡月橋・伏見稲荷など9カ所	令和4年5月3日	京都新聞
近づく復活 鷹山試し曳き 祇園祭・後祭巡行へ	令和4年5月5日	京都新聞
持続可能な京都景観83指標/雨を吸収 冠水抑制する庭/触れて楽しむ無鄰菴「多くの人に文化財の良さを」	令和4年5月11日	京都新聞
2球技場再整備へ宝が池公園・下鳥羽公園スタンド改修など	令和4年5月12日	京都新聞
混雑起きにくいスポット 嵐山観光サイトで紹介/山鉾巡行再開向けCF	令和4年5月12日	京都新聞
任天堂創業者まちな再開発 発祥の地下京・菊浜エリア	令和4年5月13日	京都新聞
太平の世も「御土居」は大切 盛り土補修や水路整備跡発見	令和4年5月17日	京都新聞
「御土居」子が遊び地肌露出	令和4年5月20日	京都新聞
京で文化庁始動来年3月27日に	令和4年5月22日	京都新聞
伝統と最先端 技融合で挑め 化学で産業課題解決	令和4年5月23日	京都新聞
京の夜 風情を磨け 市、夜間景観づくり指針/京都市指定有形文化財 市電関係の史料 冊子に	令和4年5月24日	京都新聞
二条城入城者ピーク時の17年度から8割減	令和4年5月25日	京都新聞
昭和風情残す町家建築の銭湯 「錦湯」1世紀の歴史に幕	令和4年5月31日	京都新聞
空き家代執行で解体へ 京都市所有者判明では初/祇園祭3年ぶり山鉾巡行観覧席券7日発売	令和4年6月1日	京都新聞
京の宿泊施設2年連続減/夕暮れに安寧祈る舞3年ぶり京都薪能に1350人	令和4年6月2日	京都新聞
メタバースでも京都市財政難	令和4年6月6日	京都新聞
新三条大橋雅な風情に/御所南ストリート始動	令和4年6月11日	京都新聞
洋館風の銭湯「軍のまち」意識1931年完成、伏見深草の「宝湯」	令和4年6月15日	京都新聞
京町家火災から守る 木製防火雨戸	令和4年6月17日	京都新聞
昨秋、無電中化終えた先斗町 都市景観大賞優秀賞に	令和4年6月21日	京都新聞
京町家「解体届」義務化4年保身に転換170軒中5件	令和4年6月24日	京都新聞
弥栄会館ホテルに	令和4年6月25日	京都新聞
山一番 前祭孟宗山 後祭浄妙山	令和4年7月2日	京都新聞
時代祭3年ぶり行列実施へ平安講社「継承のブランク限界」	令和4年7月6日	京都新聞
千本鳥居の玉砂利復活	令和4年7月7日	京都新聞
銚建ての技で耐震補強/仁和寺門前ホテル賛否の声	令和4年7月12日	京都新聞
「建築協定」20年ぶり更新用途や高さ制限範囲拡大	令和4年7月13日	京都新聞
法の火床ある松ヶ崎東山 CF奏功 シカ食害回復傾向	令和4年8月12日	京都新聞
「京都モダン建築祭」今秋開催へ	令和4年8月15日	京都新聞
京都市の仮想空間拠点活用	令和4年8月17日	京都新聞
「膏薬辻子」景観保全へ	令和4年9月2日	京都新聞
旧川崎家住宅解体免れた/防災まちづくり計画を認定	令和4年9月6日	京都新聞
新景観政策の「限界」指摘	令和4年9月7日	京都新聞
京の名所彩る幻想の光デジタルアート企画第1弾は京都市役所	令和4年9月16日	京都新聞
京の森林生か事業者を支援 放置竹林から橋	令和4年9月22日	京都新聞
進出続く豪華ホテル地域との融合不可欠に	令和4年9月24日	京都新聞
高さ制限見直し公表 京都市5地域規制緩和案	令和4年9月29日	京都新聞
旅館「月見観」活用どうなる？ 取り扱いに地元懸念	令和4年10月4日	京都新聞

京都市の歴史まちづくりに関する取組や京都市文化財保存活用地域計画を報道機関に取り上げられることにより、市民への普及啓発となった。令和4年度3年ぶりに多くの祭礼が再開された。祇園祭の山鉾巡行も感染対策を取りながら実施され、伝統文化継承へ向けた取り組みが進められた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし	報道に取り上げられた取組は、その意見を踏まえながら各施策に活かせるよう検討を行う必要がある。
状況を示す写真や資料等	



●祇園祭 山鉾巡行を再開  
(令和4年4月21日/京都新聞掲載)



●時代祭3年ぶり行列実施へ平安講社「継承のブランク限界」  
(令和4年7月6日/京都新聞掲載)



●京の名所彩る幻想の光デジタルアート企画第1弾は京都市役所  
(令和4年7月16日/京都新聞掲載)



●中京・梅屋と本能学区防災まちづくり計画を認定  
(令和4年9月6日/京都新聞掲載)

評価軸⑥-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目		
「京都市の歴史的建造物」パンフレット印刷・販売		

計画に記載している内容	記載なし
-------------	------

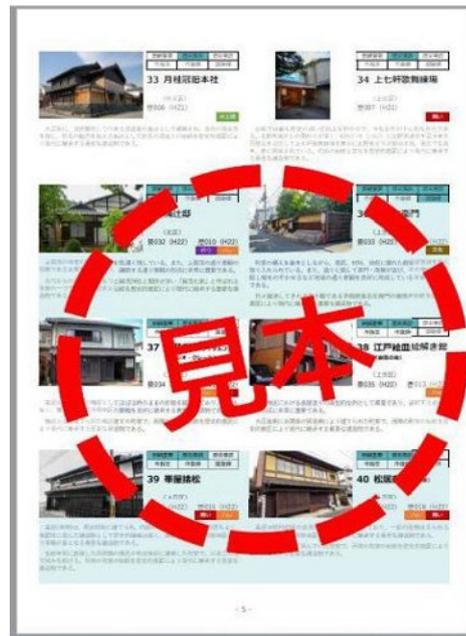
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

京都市の景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物として指定している建造物を掲載する「京都市の歴史的建造物」のパンフレットを制作し、印刷及び販売を行った。  
また、所有者から情報発信の希望があった建造物については、本市ホームページで建造物を個別に紹介する記事を作成し、京都市ホームページにて公開している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	特になし
---	------

状況を示す写真や資料等



「京都市の歴史的建造物」パンフレット

評価軸⑥-2  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目		
ArtsAidKYOTO～京都市連携・協働型文化芸術支援制度～		

計画に記載している内容	記載なし
-------------	------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

アーティスト等の支援のために文化芸術分野で創設した「ArtsAidKYOTO～京都市連携・協働型文化芸術支援制度～」の対象を、令和4年9月から文化財保護事業にも拡充した。  
本制度は、個人・企業等から京都市へいただいた寄付金の7割を文化財所有者等が行う文化財保護事業への支援に、3割を本市が行う文化財保護施策(京都市指定・登録文化財への修理等助成など)に活用するもの。  
令和4年度は3件の文化財保護事業を認定のうえ寄付募集を実施。集まった寄附金をもとに市内文化財の修理事業等へ助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	—
---	---

状況を示す写真や資料等

【基本的な仕組み】



【周知パンフレット】



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	進行管理・評価: 令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和5年度第1回京都市歴史まちづくり推進会議	
会議等の開催日時: 令和5年6月5日(月)午前10時～11時半	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・全体を通して、状況を示す写真や資料等を可能な限り掲載し、写真等は鮮明なもので見やすい資料としてほしい。</li><li>また、歴史的町並み再生事業の改修前後で外観が変わっているのが、説明を追記したほうがよいのでは。</li><li>・建造物の補助金利用で実績がないものについては、進捗状況の評価は再検討したほうが良いのではないか。</li></ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・引き続き、歴史まちづくり事業の推進を進める。</li><li>・進捗評価内容がより把握できるよう、状況を示す資料等を掲載していく。</li><li>・市の財政事情が厳しい中ではあるが、歴史的風致を構成する建造物や町並み、人々の営みを継承するための支援を講じていく。</li></ul>	